

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【公開番号】特開 2018-158549 (P2018-158549A)

【公開日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2018-039

【出願番号】特願 2017-58010 (P2017-58010)

【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/52 (2006.01)**

**B 4 1 M 3/06 (2006.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

**B 3 2 B 27/00 (2006.01)**

**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

**B 3 2 B 5/18 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/52 1 0 0

B 4 1 M 3/06 F

B 4 1 M 3/06 C

B 4 1 J 2/01 5 0 1

B 4 1 J 2/01 1 2 5

B 3 2 B 27/00 C

B 4 1 M 5/00 1 0 0

B 3 2 B 5/18

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 13 日 (2020.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基材の一方の面上に形成されたアンカー層と、  
前記アンカー層の上に形成された熱膨張層と、を備え、  
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、  
前記アンカー層は、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を含む、  
ことを特徴とする熱膨張性シート。

【請求項 2】

前記基材の一方の面上には、第 1 のインク受容層が形成されており、  
前記アンカー層は前記第 1 のインク受容層上に形成される、  
ことを特徴とする請求項 1 に記載の熱膨張性シート。

【請求項 3】

前記基材の他方の面には接着層及び剥離層が形成され、  
前記剥離層の、前記接着層に形成されている面と反対の面には、第 2 のインク受容層が  
形成される、

ことを特徴とする請求項 2 に記載の熱膨張性シート。

【請求項 4】

基材の一方の面上にアンカー層を形成する工程と、

前記アンカー層の上に熱膨張層を形成する工程と、を備え、  
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、  
前記アンカー層を形成する工程では、  
前記基材の一方の面上に、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を用いて、又は、  
前記基材の一方の面上にコロナ処理を施すことによってアンカー層を形成する、  
ことを特徴とする熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 5】

前記基材の一方の面上には、第 1 のインク受容層が設けられており、  
前記第 1 のインク受容層上に前記樹脂を塗布することによって、前記アンカー層を形成する、  
ことを特徴とする請求項 4 に記載の熱膨張性シートの製造方法。

【請求項 6】

前記基材の他方の面には接着層及び剥離層が形成され、  
前記剥離層の、前記接着層に形成されている面と反対の面には、第 2 のインク受容層が形成される、  
ことを特徴とする請求項 5 に記載の熱膨張性シートの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上記目的を達成するため、本発明に係る熱膨張性シートは、  
基材の一方の面上に形成されたアンカー層と、  
前記アンカー層の上に形成された熱膨張層と、を備え、  
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、  
前記アンカー層は、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を含む、  
ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

上記目的を達成するため、本発明に係る熱膨張性シートの製造方法は、  
基材の一方の面上にアンカー層を形成する工程と、  
前記アンカー層の上に熱膨張層を形成する工程と、を備え、  
前記基材は樹脂からなるフィルムであり、  
前記アンカー層を形成する工程では、  
前記基材の一方の面上に、ポリエステル・アクリル・ウレタン複合樹脂を用いて、又は、  
前記基材の一方の面上にコロナ処理を施すことによってアンカー層を形成する、  
ことを特徴とする。